

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 543 号	氏名	黄 永林
学位審査委員	主 査 田中 隆 副 査 畑山 範 副 査 田中 正一		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、中国南部に広く分布するシイ属植物を健康維持効果が注目されているポリフェノール類の資源植物として利用するために成分精査を行い、さらにその結果をもとに、未だ植物分類学的に不明確な部分が残るブナ科シイ属について、化学成分を指標に分類するケモタキソノミー的考察を行おうとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>3 種のシイ属植物から、さまざまなカラムクロマトグラフィーの手法を駆使して 170 余種の化合物を分離し、そのうち新規化合物 9 種については、二次元核磁気共鳴、質量分析、円偏光二色性スペクトルなどの機器分析と、加水分解や誘導体化等の化学的手法を駆使して構造を決定している。また、ブナ科植物 32 種の成分比較では、高速液体クロマトグラフィーを 2 種の条件で分析しさらに各成分の紫外可視吸収スペクトルを比較することで同定を行って確実性を上げており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>新規化合物のうちトリテルペンのフェノールカルボン酸エステルは、一部のシイ属植物にだけ見出される極めて特徴的な成分であり、ケモタキソノミー的考察の中で重要な指標成分となった。また、初めてのシンコナイン配糖体や対称な大環状構造をもつエラジタンニン 2 量体の分離など新規性の高い化合物の分離に成功している。また、トリテルペンのフェノールカルボン酸エステルの有無によりシイ属が大きく 2 つのグループに分けられることを見出すなど、ケモタキソノミー的に興味深い結果を得ている。</p> <p>以上のように本論文は、創薬資源研究と植物化学に大きく貢献するものであり、審査委員 3 名は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			